

意見書

稲築地区(岩崎) 産廃処理施設に反対



自然豊かな嘉麻市

稲築地区岩崎の旧共和工場跡地約2万坪に、処理業者から産業廃棄物中間処理施設を設置するため、福岡県に環境調査書が提出されています。

合併前の旧稲築町では、全町から約1万2千人の反対署名の陳情や設置反対の看板約2千枚を立てるなどの活

発な反対運動が展開されてきました。

嘉麻市は、筑豊全域を潤す遠賀川が流れ、周囲は豊かな自然であります。

すでに市内には、処理施設が19ヶ所あり、これ以上の産廃施設は必要なく、岩崎の処理施設に許可をしないよう県に意見書を提出しました。

嘉麻市議会も岩崎の産廃施設の設置に反対する決議を可決!

稲築、碓井郵便局の配達などを飯塚郵便局に統合する計画に反対

日本郵政公社九州支社は、平成19年10月の民営化を前に、稲築、碓井郵便局で行われておる郵便物の配達・集荷などの外務事務を平成18年9月以降飯塚郵便局へ統合すると発表しています。

今後一層の高齢化が見込まれる当市において、郵便局の存在はますます重要となつてきます。採算性のみを重視した全国的な統廃合計画および今回の計画には反対し、白紙撤回を求めるものです。

採決の結果、賛成多数で意見書を可決し、関係大臣に提出しました。

「非核平和宣言」を求める決議

今もなお、世界ではテロの頻発や核の実験など、平和と人類の生存に深刻な脅威をもたらしています。美しい自然、豊かな郷土を子孫に引き継ぐことは今生きる私たちの最大の責務であり、全人類の自由と幸福と恒久平和を目指して、非核平和宣言することを求める決議を可決しました。

大力橋(嘉穂)の架け替えを求める 請願は継続審査

大力橋は、昭和28年に架設され約53年が経過し老朽化が進み危険な状態で架け替えを求めるものです。建設委員会では、改修の必要性は認めるものの、国道322号八丁トンネル化の法線結果を待つて検討を行うということで、継続審査となりました。